



「今日が楽しく明日が待たれる学校」

あけましておめでとうございます。～こだわりの先に～

本年もよろしくお願いいたします。

皆さんはどのように新しい年を迎えられましたでしょうか。わたしは、家族で例年通りの年の瀬から新年を迎えましたが、年末に息子が年初からの転勤辞令を受け、年の初めから引っ越し作業に追われました。

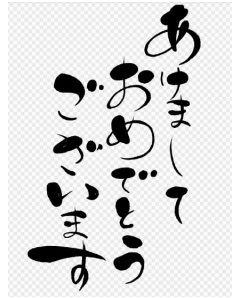
比較的穏やかな正月で、引っ越し作業をする中で多用したのがラジオです。そのラジオの中でよく聞かれたのが「新年明けましておめでとうございます」という年頭の挨拶言葉でした。普段何気なく遣っている賀詞ですが、本来的には誤りであるけれど、慣用的に遣う人が多いので許容されて一般化している言葉です。誤りの観点は二つです。

一つは重複表現であること。「新年」と「明ける」が同じ意味を表しているというものです。

もう一つは、「明ける」が「〇〇の状態が終わる」という意味で使われる言葉（「梅雨明け」や「徹夜明け」等）なので、「新年明けまして」は「新年が終わりまして」とも捉えられるというものです。

しかし言葉は生きている人間が遣う物ですので、「新年明けましておめでとうございます」も許容となるでしょう。一時の「ら抜き表現問題」と同じですね。

私は国語の教員ですので、言葉の「？」によく目がいきます。こだわりです。生徒の皆さんにも、この「？」に目を向けてほしいと思っています。自分の興味のある分野で疑問が湧き、それを追求していくことは、物事を成し遂げていく上で大きな原動力になります。「？」が湧いたら調べ、自分の言葉に置き換えて理解を深め、自分の知識とする。「？」は原動力となりますね。スポーツや芸術でも同じです。是非自分の興味のあることにこだわって、自己実現につなげてほしいと思います。



『画竜点睛を欠く』ではいけない

画竜点睛とは、中国の故事に基づいてできた言葉（故事成語）です。意味は、「事を完成するために最後に加える大切な仕上げ」のこと。標題には『画竜点睛を欠く』と書いてありますから、「大切な最後の仕上げをしないことではいけない」ということになります。つまり、仕上げが肝心ということです。学校生活のまとめである3学期、しっかり仕上げをしてほしいという意味でこの話をしました。

この1年間が、本当の意味で充実した1年間になるかは1月～3月のこの3か月にかかっていると言っても過言ではありません。終わり良ければすべてよしということわざもあるくらいですから。しかし、学校生活は「点」ではなく「線」です。これまでのことを振り返り、この3か月でどうすれば成長を自覚できるかということになります。

3年生、いよいよ進路確定に向けて正念場を迎えます。しかし、高校に合格することがゴールではありません。高校は通過点に過ぎませんし、きちんと学び終わることが大切です。だから今が大切なのです。今出来ないことは高校へ行っても出来ません。今の中学校生活をいい加減にしている人、いつ変わるのか、今を変えて今をしっかりしなければ高校生活は続きません。残り3か月の日々を大切に、中学校生活の仕上げをしてください。そして、受験はチームワーク（チームプレイ）です。皆で思いを一つにして、『合格』を勝ち取りましょう。

2年生、3学期には立志式がありますね。大切なのは立志式当日だけでなくその前やその後の生活です。今年は卒業式の次の日に行う予定です。名実ともに最高学年としての自覚と決意を高めながら当日の式典での凛とした姿勢を期待しています。2年生にとって3学期は仕上げと同時に3年生への出発の時でもあります。3学期は是非このことを意識してください。

1年生、初めての中学校生活、みなさんは一生懸命頑張っています。その姿は見えてもすがすがしいです。ただ中には少し慣れたために、いい加減な行動をする人も見えてきました。みんなでせっかく頑張ってきているのだから、最後の3か月でそれをもっと高めていけるようにすること、それが2年生への、大人への第一歩です。そして、「この生徒たちならば安心して任せられる」と思われるような生徒に、学年になってください。

3学期、最高の仕上げをすること、それが次へのステップとなるように意識して過ごしていきましょう。終わりに、是非参考にしてほしいことを箇条書きで記します。

- 「習慣」が人を作る
- 「朝、自分で起きる」ことは、自立への第一歩
- 「気持ちの良い挨拶」は、笑顔を増やし人間関係を豊かにする
- 笑顔で「ありがとう」を伝える習慣は、自分も周りも明るくする



新型コロナウイルス感染症対策 ～光触媒スプレーによるコーティング作業～

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の危険性が現実味を帯びてきており、本校でも、少しずつ感染者が増えてきています。そんな中、市内の企業様（ダイナム）から提供を受け、1月6日に各教室の生徒用机や窓の棧などに光触媒スプレーによるコーティングを実施しました。このスプレーは通常5～6年の耐用年数があり、アルコール消毒が不要というもので、同社が全国規模で学校や公共施設等に寄贈を展開しています。感染者数や死者数の増加が顕著な今、大変ありがたいと思っています。今後は、特別教室等にもスプレーの塗布作業を実施していきます。

これ以外にも感染症の流行時期です。手洗いやうがい、励行をはじめ、食事をきちんと摂るなど基礎体力をつけて自己免疫力を高めていきましょう。



弁当の日の取組 ～食育と自立と～

『弁当の日』の取組をしました。この活動は、2001年から香川県の滝宮小学校で始まったものです。今では、宮崎県を含めて全国多くの学校で取り組まれています。子ども自身が1食分の献立を考え、自分で作るこの取組の提唱者である竹下和夫氏は、保護者に対してPTA総会において「くれぐれも子どもの弁当づくりを手伝わないようにしてください」と伝えたそうです。

私はこの活動のねらいは二つあると考えています。一つは食育面の目標です。栄養価を考えながらバランス良く彩りを考えて献立を考えることで、食の重要性を認識させることです。もう一つは生徒指導の面です。自分で弁当を（1食分の食事）作ること、普段自宅で作ってくる食事を作ってくれている人の存在のありがたさに気づき、自立心を培うことです。

献立の相談に乗ったり一緒に買い物に行ったり、あるいは一緒に作って盛り付けを考えたりすることで、子どもさんとの会話が成長の一端垣間見ることができないのでしょうか。以下に、そのお弁当の一部を載せます。また来年も頑張っていきたいと思ひますし、日常でも余裕があれば、一緒にキッチンに立って一緒に食事の準備をするとかいかがですか。新たな発見があるかもしれません。



【各種表彰】

2学期の終業式で表彰状の伝達式を行いました。2学期間の生徒の皆さんの頑張りを称することができて、とても良い機会でした。表彰された皆さんの一部を紹介します。

《部活動》

女子バスケットボール部

宮崎県U-15バスケットボール大会第3位 第18回つわぶきカップバスケットボール大会3位

女子ソフトテニス部

宮崎県中学校地区別対抗戦南那珂予選会第2位（川崎愛華さん、平下美空さんペア）

《各教科》

宮崎県読書感想文コンクール佳作（2年山下心海さん）

南那珂地区読書感想文コンクール入選（1年玉村羽輝さん 浅田蒼介さん）

第12回青の國若山牧水短歌大会佳作（2年川越優花さん 斉藤心花さん）

南那珂地区サイエンスコンクール最優秀賞（2年川越優花さん）

このほかにも、計算力コンテストや漢字力コンテスト、各種資格検定の合格した人を表彰しました。おめでとうございます。今後も多くの生徒の皆さんの挑戦を楽しみにしています。

<2月の主な行事予定>

日	曜	2月	日	曜	2月
1	水	フッ化物洗口 推薦入試事前指導（3年生）	15	水	読み聞かせ読書
2	木	県立高校推薦入試 ALT 来校	16	木	第3回定期テスト 巡回相談員来校
3	金	参観日（1年生・3年生）			県立一般入試入学願書受付（～20日）
7	火	リフレッシュデイ	17	金	第3回定期テスト 学校運営協議会
8	水	ALT 来校	21	火	リフレッシュデイ
9	木	巡回相談員来校	22	水	県立一般入試志願変更受付最終日
11	土	建国記念の日	23	木	天皇誕生日
13	月	定期テスト期間部活動停止（～17日）	24	金	巡回相談員来校
		推薦入試合内定通知（3年）	27	月	ALT 来校
14	火	リフレッシュデイ	28	火	リフレッシュデイ